

2017年12月
(一社)日本バルブ工業会

JIS B 2061 (給水栓) 改正のお知らせ

給水栓の構造・性能などを定めた JIS 規格である“JIS B 2061(給水栓)”が、2017年9月20日付けで改正されました。

この改正では、建築物省エネ法(建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律)における“節湯水栓”の基準がこの規格に新たに規定されました。

“節湯水栓”の基準が JIS 規定化されたことに伴い、この JIS 改正の概要と当該基準に該当する給水栓の変更内容について当会メーカーの対応を次にお知らせいたします。

なお、この改正については、改正公示日から1年間の移行猶予期間が設けられています(2017年9月20日から2018年9月19日まで)

記

1. JIS 改正の目的・背景

建物の省エネルギー基準を示した“建築物エネルギー消費性能基準^{※1}”や“低炭素建築物認定基準^{※2}”では、給湯設備の負荷を低減するため、従来よりも約10~30%程度の節湯効果のある節湯形の水栓“手元止水機構(A1)、小流量吐水機構(B1)、水優先吐水機構(C1)”が位置付けられています。

今回の JIS 改正では、上記基準の節湯形の水栓に関する事項を新たに JIS 本文に規定しました。

※1:「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律」に基づく告示(告示の名称:建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令における算出方法等に係る事項等)

※2:「都市の低炭素化の促進に関する法律」に基づく告示(告示の名称:建築物に係るエネルギーの使用の合理化の一層の促進その他の建築物の低炭素化の促進のために誘導すべき基準)

2. JIS 改正の主なポイント

今回の JIS 改正では、節湯水栓に関する定義、構造、試験方法の追加を行いました。主な改正点は、次のとおりです。

- ① 用語及び定義の項目に「節湯水栓」に関する規定を追加

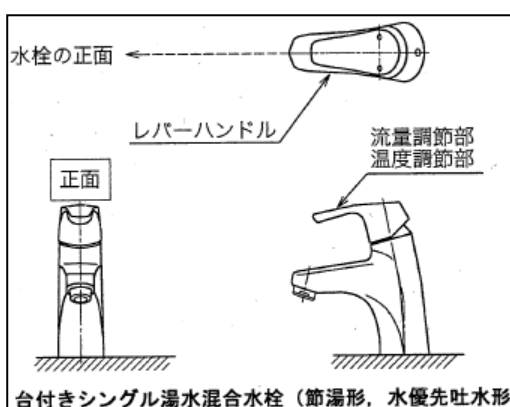
- ② 性能の項目に「小流量吐水形(B1)」の節湯水栓の性能を追加
- ③ 構造・形状・寸法の項目に「手元止水形(A1)」及び「水優先吐水形(C1)」の構造を追加
- ④ 試験方法の項目に「小流量吐水形(B1)」の性能試験方法を追加
- ⑤ 包装表示の項目に以下を追加(機能 水優先吐水形の場合)
 - ・補助区分 名称「節湯形」(略称「節湯」)
 - ・機能 名称「水優先吐水形」(略称「C1」)

包装表示例(右記製品の場合)

台付シングル13 **節湯 C1**

或いは、機能は省略可能なため

台付シングル13 **節湯**



3. 節湯形に該当する給水栓の包装表示対応について

節湯水栓に該当する商品の包装表示の変更(節湯内容を追加)を移行猶予期間内(2017年9月20日～2018年9月19日)に行う必要があります。

同一品番でも、移行猶予期間中は、旧規格の規定に基づいた包装表示を行った製品とJIS改正後の規定に基づいた包装表示を行った製品が混在出荷される場合がありますが、製品仕様に異なる点はありません。

上記 2.⑤の例 旧規格

台付シングル13

新規格

台付シングル13 **節湯**

※ (一社)日本バルブ工業会 節湯水栓に関する HP URL

<https://www.j-valve.or.jp/suisen/>

以上